カリキュラムマップ

各授業科目はそれらを履修することで学修目標が達成できるよう設けられています。科目と学修目標との関連は以下のとおりです。

【養成する人材像】

地域や企業が抱える様々な課題に対して、デジタル技術を活用して、人間中心の視点からの発想により、新たな解決方策やイノベーションを創出し、デジタル社会の実現に貢献できる人材

科目区分			科目名	DP1【知識・技能】 文理融合の実践的総合知をもとに、地域課題解決に資する技能や豊かな語学力を活用したコミュニケーション能力、データサイエンス等の知識や基礎的技能を身に付け、活用することができる。		
				1-1 国内外の文化間の課題や新たな地域づくりに向けたデジタル情報の活用に関して、総合的に理解し、説明することができる。	1-2 日本語やプログラミング言語を用いて、意図内容を明確にするための知識や技能を習得している。	1-3 地域社会の諸課題についてデータ駆動型の解決策を提案するためのAI・データサイエンスの技能を身に付けている。
専門教育科目群	専門基礎科目（DX 推進）		データ科学のための数学入門			○
			データ科学のための基礎数学			○
			DX 概論			○
			統計学概論			
			人工知能概論			
			プログラミング思考Ⅰ			○
			プログラミング思考Ⅱ			○
			AI 活用演習			○
			経営情報マネジメント概論（実習を含む）			○
			マルチメディア概論（実習を含む）			○
	学部基幹科目		国際関係論	○	○	
			日本文化論	○	○	
			地域文化論	○		○
			デザイン文化論	○	○	
			デザイン思考論	○		○
			コミュニティデザイン論	○		○
			地域学			
	学科基礎科目		情報社会演習	○		
			ウェルビーイング概論			
			科学技術社会論	○		
			情報倫理	○		
			情報社会Ⅰ（政治）	○		
			情報社会Ⅱ（宗教）	○		
			情報社会Ⅲ（空間形成）	○		
			情報社会Ⅳ（環境）	○		
			情報社会Ⅴ（経済）	○		
			情報社会Ⅵ（地域資源）	○		
			ヒューマンリソース文化論	○		
	展開科目	つなげる領域	サステナビリティ学概論			○
			情報科学概論（実習を含む）			○
			技術と倫理			○
			Introduction to Buddhism			○
			Politics of Japan			○
			Japanese Economy and Globalization			○

DP2【思考力・判断力・表現力】			DP3【主体性・多様性・協働性】		
地域社会の複合的な諸課題を俯瞰的に捉え、批判的思考やデザイン思考を駆使して検討し、その解決策を多様なツールを用いて、論理的にわかりやすく表現することができる。			地域社会の国際化や多文化共生、人々の暮らしの質向上に向けたデジタル化の推進に向けて、自ら考え主体的に行動しようとする姿勢を身に付け、文化や価値観の異なる多様な他者との対話を通して、イノベーションを創発するために協働し、学び続けることができる。		
2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3
地域社会の諸課題を俯瞰的に捉え、批判的思考力を科学的根拠にも依拠しつつ発揮し、情報技術を用いた課題解決に向けて思考する力を身に付けている。	地域社会の諸課題を俯瞰的に捉え、データやデジタルを活用し、デザイン思考のプロセスを踏まえて解決策を導き出すことができる。	イノベーションに向けた思考やビジネスマインドをもち、多様なツールを用いて関係する多様な他者が理解できるよう表現することができる。	地域社会のデジタル化推進による新たな地域コミュニティづくりや人々の生活の質向上に向けて、情報文化の視点から自ら考え主体的に行動することができる。	地域社会のなかで、文化や価値観の異なる多様な他者を受容し、文系理系の壁を越えた対話を通して多様な意見を仲介し、地域の暮らしの DX 推進に向け協働することができる。	人々の暮らしの質向上や新たな地域社会づくりに向けて、文化や価値観の異なる多様な他者とともに、地域社会の豊かな未来の創造のために考えたことを発信し、学び続けることができる。
○					
○					
	○				
	○				
	○				
	○				
	○				
	○				
	○				
			○	○	
					○
○					
○					
○					
○					
○					
○					
○					
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			

DP1【知識・技能】		
文理融合の実践的総合知をもとに、地域課題解決に資する技能や豊かな語学力を活用したコミュニケーション能力、データサイエンス等の知識や基礎的技能を身に付け、活用することができる。		
1-1	1-2	1-3
国内外の文化間の課題や新たな地域づくりに向けたデジタル情報の活用に関して、総合的に理解し、説明することができる。	日本語やプログラミング言語を用いて、意図内容を明確にするための知識や技能を習得している。	地域社会の諸課題についてデータ駆動型の解決策を提案するためのAI・データサイエンスの技能を身に付けている。

科目区分			科目名	1-1	1-2	1-3
	展開科目	つなげる領域	グローバルスタンダードと政治			○
			計量経済学			○
			ビジネスプランニング論			○
		かかわる領域	情報と組織			○
			企業経営論			○
			地方財政論			○
			リスクマネジメント			○
			コミュニティデザイン演習			○
			観光まちづくり論			○
			観光まちづくり演習			○
		つくる領域	デジタル技術のための数学			○
			情報通信ネットワーク概論（実習を含む）			○
			ネットワーク分析論			○
			サーバ構築演習			○
			仮想化技術			○
			ネットワーク構築演習			○
			AI 構築演習			○
			教育コンテンツ制作（実習を含む）			○
			画像情報処理（実習を含む）			○
			自然言語処理システム（実習を含む）			○
			GIS 学演習			○
	実践的統合教育科目		DX による地域課題解決（PBL）Ⅰ			
			DX による地域課題解決（PBL）Ⅱ			
			専門演習Ⅰ			
			専門演習Ⅱ			
			卒業演習Ⅰ			
			卒業演習Ⅱ			
	関連科目		情報と職業			
			コミュニケーション論			
			図書館概論			
			日本語学概論			
			社会調査法入門			
			地域デザイン論			
			専門インターンシップ			

DP2【思考力・判断力・表現力】			DP3【主体性・多様性・協働性】		
地域社会の複合的な諸課題を俯瞰的に捉え、批判的思考やデザイン思考を駆使して検討し、その解決策を多様なツールを用いて、論理的にわかりやすく表現することができる。			地域社会の国際化や多文化共生、人々の暮らしの質向上に向けたデジタル化の推進に向けて、自ら考え主体的に行動しようとする姿勢を身に付け、文化や価値観の異なる多様な他者との対話を通して、イノベーションを創発するために協働し、学び続けることができる。		
2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3
地域社会の諸課題を俯瞰的に捉え、批判的思考力を科学的根拠にも依拠しつつ発揮し、情報技術を用いた課題解決に向けて思考する力を身に付けている。	地域社会の諸課題を俯瞰的に捉え、データやデジタルを活用し、デザイン思考のプロセスを踏まえて解決策を導き出すことができる。	イノベーションに向けた思考やビジネスマインドをもち、多様なツールを用いて関係する多様な他者が理解できるよう表現することができる。	地域社会のデジタル化推進による新たな地域コミュニティづくりや人々の生活の質向上に向けて、情報文化の視点から自ら考え主体的に行動することができる。	地域社会のなかで、文化や価値観の異なる多様な他者を受容し、文系理系の壁を越えた対話を通して多様な意見を仲介し、地域の暮らしのDX推進に向け協働することができる。	人々の暮らしの質向上や新たな地域社会づくりに向けて、文化や価値観の異なる多様な他者とともに、地域社会の豊かな未来の創造のために考えたことを発信し、学び続けることができる。
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
			○	○	○
			○	○	○
○			○	○	
○			○	○	
			○	○	○
			○	○	○
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			